

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 398

政策体系	22	事業分類	ソフト事業	所管部局	農林商工部 農政課
会計	一般会計	科目	6. 農林水 - 1. 農業費 - 3. 農業振 現年		
事業名	地域バイオマス利活用交付金事業				
細事業名	地域バイオマス利活用交付金事業				
評価表作成者				農林商工部 農政課	寺田 利裕

1. 事業の概要

南丹市バイオマスタウン構想に基づき、家畜排せつ物や食品残さなどのメタン発酵やたい肥化の取り組みを進める。また、メタン発酵消化液の活用のため、液肥利用促進を行う。

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

環境にやさしい暮らし、エネルギーの有効活用として、バイオマスタウン構想の実現に向けた地域の創意工夫による取組を行うことができる。

② 事業を実施する必要性

地球温暖化の防止、循環型社会の形成、競争力のある新たな戦略産業の育成、農林漁業の活性化に向け、南丹市バイオマスタウン構想に掲げたバイオマスタウンの実現に向けた取組を行う必要がある。

3. 事業費の推移

		単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額		千円				12,965	2,000		
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円				0	0		
財源内訳	使用料・手数料等	千円				0	0		
	国・府支出金	千円				11,965	1,500		
	地方債	千円				0	0		
	一般財源	千円				1,000	500		
職員等の従事人員		人/年	—			0.17			
人件費		千円	—			948			
事業費総額		千円	—			13,913			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

地球温暖化ガス排出削減量調査8,190,000円（委託料）
液肥普及拡大等調査1,559,550円（委託料）
液肥等分析手数料923,580円（役務費）
打合せ、研修等1,122,107円（旅費、需要費）
パンフレット作成300,000円（需要費）
八木町農業公社への補助金965,322円（補助金）

5. 事業結果の概要

調査研究委託3事業
パンフレット作成18,000部
補助金1団体

6. 活動の詳細

(1) 調査研究		
(社) 地域資源循環技術センターへ南丹市地球温暖化効果ガス削減量算定業務を委託	6月～3月	八木バイオエコロジーセンターを中心とした活動による地球温暖化効果ガス削減量、費用対効果を算定。
南丹市液肥利用協議会へ液肥利用調査研究及び集落内における液肥利用普及啓蒙活動を委託	6月～3月	液肥利用協議会の開催。液肥散布圃場現地巡回の実施。先進地視察の実施。
長崎大学生産科学研究科へ液肥利用の普及活動及び液肥農産物の普及活動を委託	6月～3月	九州地方3市町の先進事例取りまとめと南丹市への普及方法の提案
(2) 普及啓発		
南丹市地球温暖化効果ガス削減量算定業務の結果を反映したパンフレットを作成し、バイオマス事業活動を普及啓発	3月	18,000部
液肥利用協議会にて調査研究結果を報告	3月	調査研究内容を農家へ報告
(3) 交付金の交付		
交付金を交付	3月	バイオマス利活用団体1団体へ交付。

7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

適正な家畜排泄物の処理、温室効果ガスの削減、有機農業の推進に効果がある。平成23年度からの事業展開については、国の事業仕分けにより予算確保が困難な状況となっている。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

--

■平成21年度の所属長評価

--